広報 たかのす
発行所 鷹巣町役場町長室
電話(代)550番 直通42番
(発行部数 6,100部)
印刷所 秋北新聞社

知事、県議選おわる

町の投票率は七八・二七%

県知事、県議会議員一般選挙は、四月十五日投票、終了後即日開票の結果次のとおり決まりました。

鷹巣町での投票率は七八・二七%で前回の衆議院議員選挙より〇・六五%低い成績であり、知事選挙では六百六十一票の無効投票がありましたが、次回の選挙には大事な投票権を有効に行使されるよう望みます。

㊙カッコは鷹巣町での得票数です。

◇知事

当選　五二八、〇八五票（一〇、八〇七票）
小畑勇二郎（無・現）

次点　九六、五六八票（一、三四一票）
小川　俊三（共・新）

◇県議（北秋田選挙区）

当選　一二、三三二票（二、二二一票）
小笠原　元（社・現）

当選　一一、七一五票（八、七六〇票）
成田重右衛門（自・現）

当選　一〇、八四一票（三五二票）
島沢　恭一（社・現）

当選　一〇、五七四票（三八二票）
庄司　孔一（自・現）

次点　二、二〇九票（五〇一票）
信太　宏（共・新）

鷹巣町での投票内訳

	知事	県議
有効投票数	12,121	12,218
無効投票数	661	564
持ちかえり票	8	8
計	12,790	12,790
投票率(%)	78.27	78.27

投票する前にご注意

＝町長選挙は記号式で＝

四月二十八日に行なわれる鷹巣町長選挙は記号式投票で行ないます。投票用紙（白い用紙に黒刷り）にあらかじめ候補者の氏名の上の欄に正しく〇を一つだけ書いて下さい。文字を書いたり、×△□などその他の他字記入は無効となります。

自分で投票しようとする候補者の氏名の上の欄に黒刷りで印されています。

なお、鷹巣町議会議員補欠選挙は従前どおり自書式で行なわれます。投票用紙（うすみどり色の用紙に黒刷り）に自分で投票しようとする候補者の氏名を記入してください。

鷹巣町長選挙投票㊞

注意

一、投票しようとする候補者一人について、その氏名の上の〇をつける欄に〇をつけること

二、〇のほかに何も書かないこと

〇をつける欄　候補者氏名

住みよい町 明るい村
正しい選挙で あなたがつくる
自治省
明るく正しい選挙
実践都市宣言の町
（昭和38年3月28日決議）

今月の納税

固定資産税　1期
国民健康保険税　1期
軽自動車税　全期
納期限　4月28日

町議会議員補欠選挙とは

本町では、町長選挙と同時に、町議会議員補欠選挙が行なわれます。これは去る昭和三十九年三月二十六日に行なわれた町議会議員一般選挙で選ばれた議員の任期（四年）は、明年三月三十一日となっていますが、この間に議員が死亡したり辞任などで現在定数より三名が欠員となっています。

公職選挙法により同一の地方公共団体の他の選挙が行なわれるとき同時選挙によって選出することになっていますので、首長選挙の期日に併せて町議会議員の補欠選挙が実施されます。

任期は議員の一般選挙で選出された議員の残任期間となります。

能競技大会への参加者を募集しています。

競技種目は鋳鉄鋳物工、機械工、仕上工、板金工、洋服工、左官、タイル張り工、ブロックの建築工、とび工、凸版印刷工、写真凸版製版工、建築・木工・金属の各塗装工、広告美術工、電気・ガスの各溶接工。

競技は六月十八日から八月二十日まで指定した日に行なわれます。申込みは五月二十日まで。参加申込書は県庁職業安定課産業人能力開発協会で渡します。（郵送の場合は、返信先封筒にあて先を記入し、十五円切手をはって同封してください）。くわしいことは役場商工係へお問合せください。

開票は公民館で

町長選挙、町議補欠選挙の投票開票は投票日の四月二十八日に行なわれますが開票は即日開票で鷹巣町公民館ホールで午後七時三十分から行なわれます。

技能競技大会に参加しよう

四十二年前期の秋田県技能競技大会の参加者募集

鷹巣町青少年保護育成運営委員はこのほど発会式を行ない、新しい委員二十人を委嘱し、少年非行防止を行なうことになりました。

▽会長＝成田総一郎▽副会長＝鷹巣原愛、中川篤三郎▽委員＝小野昭二郎、本間鹿之助、二階堂キヨ、成田金也、藤島修三、畠山喜代治、長崎のり、松尾精一、三沢力一郎、近藤次夫、村上昭、中島キヨ、金釜武治、畠山勇、檜森正、成田倉之助、桜庭説子

少年保護育成運営委員に20氏

和文タイピスト技能検定試験

日本商工会議所などの主催で第二十六回和文タイピスト技能検定試験を行ない、五月七日大館商業高等学校で行ない、募集期間は四月二十二日までとなって居ります。申込み場所は大館商工会議所和文タイプ係、詳細は大館商工会議所または役場商工係へお問合せください。

慶弔だより

三月中受理分

【出生】

▽志渡雅治、長男・博幸（東旭町）▽成田吉雄、長女・浩・真由美（東仲通）▽草野寿一、長女・寿子（福住町）▽秋元哲夫、長男・泰之（栄町）▽長岐雄蔵、長男・之岳彦（舟見町）▽田子雄珠、長男・勝悟（学校通）▽福田仁、長女・千代美（米代町）▽五代義唱造、二男・美幸（太平町）▽鈴木良二、長男・勝（西旭町）▽戸沢敏一郎、長女・あけみ（太平町）▽淡路富造、二女・桂子（三吉町）▽金慶一、二女・若菜（三吉町）▽西根富治、二男・博美（農林ウラ）▽伊藤一也、二女・ユカ（東旭町）▽大坂秋彦、長男・忠幸（桜木町）▽五代義進、二女・智子（西住吉町）▽佐藤秀俊、長男・秀樹（栄町）▽船橋亀治、長男・聡（舟見町）▽佐藤忠、二男・保広（三吉町）▽戸沢宏、長女・浩美（大町）▽加藤武美、長女・由美子（西旭町）▽近藤太衛寿、二女・良子（黒森）▽堀部信雄、長女・由美子（葛黒）▽畠山勇悦、三男・誠（藤株）▽佐々木洋介、長男・百合也（舟場）▽千仁、長女・千代美（米代町）▽屋敷）▽斉藤清美、長男・浩之（太田）▽日下部昭蔵、長女・陽子（太田）▽小坂秀夫、長男・重人（摩当）▽薄井忠雄、長女・尚子（小摩当）▽松尾健一、二女・静（太田）▽三沢鍵一、長女・衣紅子（田中）▽三沢正蔵、長男・聴（大堤）▽米沢茂、長男・隆（糠沢）▽松尾和男、長男・靖史（掛泥）▽高橋彰、長女・里美（綴子下町）▽深井弘、二女・美香子（新田中）▽三浦ハル二女・百合子（掛泥）▽根元一二三、長女・美子（上松原）▽高坂三雄、二女・チヤ子（相吾町）▽簾内哲夫、長男・邦夫（今泉）▽成田則男、長女・洋子（今泉）

【死亡】

▽長谷川為蔵、本人（61）（松葉町）▽河田喜市、丑五郎父（84）（三吉町）▽成田吉治、本人（54）（米代町）▽高坂清堂、本人（65）（太平町）▽長岐仁六、哲雄父（64）（七日市）▽千葉鉱蔵、本人（71）（脇師）▽千葉キクエ幸吉妻（55）（中屋敷）▽藤木ハナ、信雄祖母（85）（中屋敷）▽中島スエ、留蔵母（85）（川口）▽岩谷ミヨ、徳太郎妻（61）（摩当）▽三沢勇太郎、本人（62）（田中）▽三沢四郎、重次郎四男（34）（大堤）▽藤島利吉、源父（77）（綴子下町）▽石井マツ文治郎母（81）（街道町）▽戸沢ハツ、直三妻（83）（前山）

ふるさとの社寺

田中八幡神社

祭神は八幡大神誉田別命で、部落草創以来の産土神社で、綴子八幡宮の分社として天和元年（三一年前）役方九郎仁吉郎五二年前＝大坂夏の陣に功を立て豊臣氏滅ぶた年）豊俊という人の建立で、現社殿は安政三年七月（一一五五年前）に棟梁三沢孫十郎、三沢平助の建立である。祭日は五月、九月の十五日であったが、今は八月十五日になっている。境内にケヤキの大木がある。場所は田中から綴子に行くあった旧街道で消滅したが、現在新道が部落の中央にできてからは村はずれにあるといったところ。

部落は相当古くからの部落で、古義学の宮野いん賢が内館梁（綴子）を開いた享保十五年（三三七年前）には戸数三十戸があったといわれ、現在で鷹巣近郊のまちとして栄え、製材工場、住宅などが進出し、新しい田中部落が生まれようとしている。世帯数も八十世帯をこえ、新田中（世帯数六三三）もあり、これも部落から国道七号線迄道路を建設中であるが、完成すればさらに発展を予想される。

田中部落には三沢、成田、九島の姓が多く工藤も数戸ある。社寺とは関係がないが部落の紹介もかねました。

次回は永安寺（坊沢）

新協力委員紹介

4月1日付

宮野　義男
下町　三沢　孝盛
松原　佐藤　賢悦
岩谷　小笠原清治
大畑　成田　米蔵
田中　能登谷陽之助
新田中
▽綴子地区
▽沢口地区

おことわり

本広報紙を定期発行（毎月一日、十五日付）を、町議会統一地方選挙関係広報と併せて発行日を多少延期しています。五月一日付も町長選挙、町議補選の結果をお知らせするため、発行日を遅延する予定ですので予めご了承ください。

原稿をお寄せください

あなたの住んでいる町内（部落）や職場のどんな小さなニュース、話題、行事でも結構です。どしどしお知らせください。広報紙にふさわしいものは紹介させていただきます。

宛先・連絡先
役場町長室

あかるい家庭に
郵便局の簡易保険
□ゆたかなくらしづくり簡保新加入運動□
5月1日～6月30日

50 納税組合を表彰

町税百パーセント完納

町納税貯蓄組合連絡協議会と町税納税功績者表彰式は四月二十日鷹巣町公民館で行なわれ、町税の納期内一〇〇%完納と、納税組合員の増加運動について功績のあった五十優良納税貯蓄組合を優良団体として表彰した。

納税貯蓄組合は八十五組合(昨年同期七十七組合)で二千二百三十八世帯が加入し、町民税、固定資産税、国民健康保険税、軽自動車税を対象として納付組織が結成され、四千六百五十一万円が組合を通じて納付され、自主団体である納税貯蓄組合の発展が期待されますが組合は法的に認められた組合でいろいろな恩典もあります。

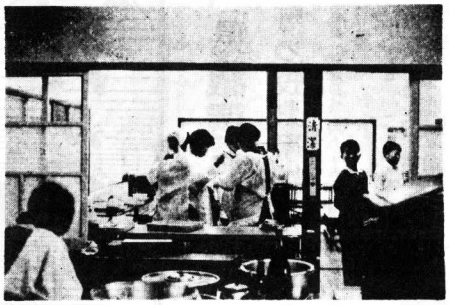
なお、表彰を受けた団体は次のとおりです。

鷹巣地区

▽鷹巣農業協同納税貯蓄組合▽鷹巣町役場職員同▽松葉町同▽中央物産同▽鷹巣町農業共済組合同▽米代町同▽大町同▽丸米木材同▽鷹巣郵便局同▽栄町同▽東鷹巣▽福住町同▽鷹巣木材同▽大町一丁目同▽西横町同▽西住吉町同▽九島木材同▽桜木町同▽沢口地区▽沢口農業協同組合納税貯蓄組合▽栄地区▽栄農業協同組合納税貯蓄組合▽田沢同▽綴子地区▽綴子上町納税貯蓄組合▽下町農研同▽田中同▽小田同▽綴子下町新町同▽田子ケ沢同▽松原同▽櫛沢第一同▽大堤同▽綴子上町第七日市地区▽品類納税貯蓄組合▽岩脇第一同▽岩脇上同▽明り又第二同▽深沢同▽岩脇中同▽横淵同▽大畑同▽七日市郵便局同▽葛黒向中島同七座地区▽今泉納税貯蓄組合▽前山同▽坊沢地区▽相善第一納税貯蓄組合▽相善第二同▽羽立第一同▽大町同▽羽立第二同▽街道町同▽上町同

楽しい寮で勉強できる

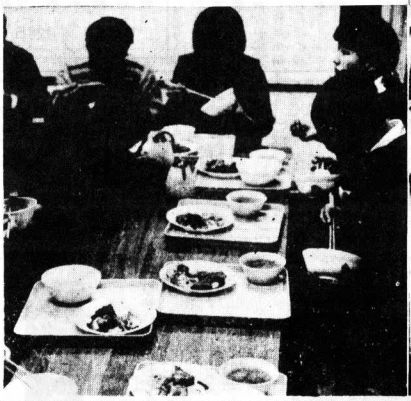
鷹巣南中学校竜森寮



鷹巣南中学校、竜森寮は新学期から開設され、姉妹校の鷹巣中の青風寮(冬期分開設)とは異なり一年の間をとおして行なわれる通年制の寮で、男女四十人収容できるりっぱな施設です。

寄宿舎は、寄宿舎が十室、管理室二、食堂、浴場、調理室などあり、施設ともに完備されております。

四十一年度に竜森中学校が廃校となり、遠かく地から通学する生徒を受けいるため昨年六月十八日着工、同年九月二十日しゅん工、新年度から実質統合によって入寮したものです。工事費は本体工事、付帯施設、事務費とも九百万七千円。建物四四五平方㍍。



写真説明

①朝食の準備には、白のエプロン、頭には三角巾をつけてお手伝い

②寄宿室では勉強長机や二段ベットが備えられている

③朝食後(午前七時五十分)寮をあとにして寮生は学校へ出る

④一日の勉強やクラブ活動を終えて夕食のひとときを

鷹巣町の消費者物価

三月は総平均で三・九パーセント安

昨年十二月以来高騰してきた物価も、三月末には野菜、副食品、衣料品が値上りしただけで六品種が下落しました。

主食で六・二%、これはもち米、麦、小麦粉、馬肉鶏卵が値下りによるものでその他は保合した。

野菜は金時豆、人参、ホーレン草、長いもが安く、小豆、馬鈴薯、ネギ、玉ねぎ、キャベツ、白菜が値上りし一・二%上昇した。

鮮魚介類はマダ、イカが高かっただけで値下り、または保合し一三・八%下落したが、これまで高値なマグロ、マスなどの切身が調査品目になかったのも指数に大きく影響している。

塩干物は〇・二%下落、果実はりんご、夏みかんが安く二・五%下落、燃料品は煉炭が値上りし、その他は全般に一・三%値下り、衣料品は冬もののシャツ、キャラコ、綿が少し下落しただけで、全般に五・一%高騰したのが大きい。

このように総体では三・九%下落したが、これからの春、野菜の出回りと好天候により生鮮、食料品、物価もある程度緩和されるものと期待される。

【商工開発課調】

山火事をなくそう

これから暖かさが増すにつれて、気温の上昇とともに火災の危険期となります。

県内各地で毎日のように火災が起きていることが、テレビや新聞で報道されています。

原因のほとんどが不注意による火の取扱いの不仕末や、こどもの火遊びです。

ストーブは早めに取除きましょう。炊事場や風呂場などふだん火を使用するところはだいじょうぶか点検をしてみましょう。またこどもがマッチを持出せないように、ていねいに取扱いましょう。

一般の住宅火災を私たちは考えがちですが、火災の中には恐しい、山火事があります。

杉や松のたくさん生えているところの山火事は、火の勢いが強くて近よれないし、交通の便や、水の便がわるいため、消火が非常に困難です。そのために一たび山火事が発生すると、その面積も非常に大きく、及んで被害も一、〇〇〇万円、二、〇〇〇万円というように山に入るひとりひとりが細心の注意をはらい、次のことを必ず守りましょう。

①山で焚火は絶対にやめる

②タバコの吸いがらはもみ消してからすてる

③採草地や原野などに火入れをするときは事前に許可を受ける

④国有林に入るときは営林署の注意や指示に従う

【記事提供鷹巣営林署】

公衆、赤電話を増設

鷹巣電報電話局で利用者の便をはかるため、次の個所に電話を増設しました。

▽公衆電話(ボックス)鷹巣駅前、学校通り、新旭町(農林高通り)の三カ所

▽赤電話　摩当部落、太田部落の二カ所。

グループめぐり ①

研修も生産のひとつ

酪農研究協婦人部

鷹巣町酪農研究協議会婦人部(会長、三沢タエ=大堤)の意力は大きい。母体である酪農研究所は昭和三十三年に発足したのに刺激されて、三十六年に誕生して六年間になる。

酪農婦人部は酪農家百十二戸の主婦で結成され、生産技術向上、所得生産の向上、豊かな食生活を目標にグループを通じて着々と進めている。ことしは酪農家も二十戸近くの世帯主が出かせぎに出、主婦に負う仕事も多かった。婦人部員は酪農を自分たちの手でりっぱにやろうと夏は一泊二日で先進地で研修している。

酪農家も一時は倍近くあったが、現在は優秀な農家だけになり頭数も一戸平均三頭以上。

乳量も町全体で三十九年に日産十石、いまは十四石と生産量も年々向上している。

しかし、生産の決め手となる良質牧草は種が田植え期などとかち合うことがある。酪農婦人部は若い人から老人まで生産の向上に余念がない。

【写真=研修のため北海道から講師を招いて一日を過ごす=三月九日七日市温泉で】

☆　☆　☆